

東京大学駒場博物館 特別講義「大ガラス」

東京大学駒場博物館が所蔵する《花嫁は彼女の独身者たちによって裸にされて、さえも（東京版）》（東京版制作：1980年、東京版監修：瀧口修造・東野芳明、通称「大ガラス」）の背景と成り立ちについて、マルセル・デュシャンによるオリジナル作品を所蔵するフィラデルフィア美術館学芸員と本学の近現代美術史研究者による講義を行います。この講義は、瀧口修造や東野芳明、安斎重男らの資料を所蔵する多摩美術大学アートアーカイブセンターおよび国立アートリサーチセンターとの共同開催です。

会場：東京大学駒場博物館 1F 展示室（南側）

開催日：2024年1月18日（木）

開催時間：19:00～21:00

対象：東京大学学生・教職員、多摩美術大学および国立アートリサーチセンター関係者

プログラム

司会：岡部美紀（国立アートリサーチセンター、国際発信・連携グループリーダー）

19:00 開会 あいさつ 折茂克哉（東京大学駒場博物館、助教）

19:10 「デュシャン一家の芸術」 松井裕美（東京大学大学院総合文化研究科、准教授）

19:30 「東京におけるマルセル・デュシャン《大ガラス》の再制作」
加治屋健司（東京大学大学院総合文化研究科、教授）

19:50 休憩

20:00 “Why Are there Multiple Copies of Duchamp’s *Large Glass*?”
Matthew Affron（フィラデルフィア美術館、学芸員）

20:30 トークセッション Matthew Affron、加治屋健司、松井裕美

20:50 質疑応答

21:00 閉会